

歴史を学ぶ講座

新・八幡の歴史 20 回目

前回は正平 7 年(1352)の「正平の役」のお話でした。天皇、公家、武士のことや前後関係がつかめないと中々わかり辛いなあと思いました。わかっていなかったのです。

南朝方の後村上天皇側と足利義詮がつく北朝方との約 60 日のたたかい。3 月 21 日八幡男山の後村上天皇を足利義詮が攻める。南朝方は宇治、洞ヶ峠、山崎などで迎え撃つが、幕府軍(北朝方)の包囲の中、兵糧が尽きた。南朝方が八幡の地に陣を構えたのは、この地が交通の要衝、兵糧集積地としての八幡宮の存在、近郊の中世農村として進んでいたことによる。京を攻略・防衛の拠点として八幡の地が最適だった。八幡にはその戦いを示す三宅安兵衛さんの石碑がたくさん残されています。

- ① 日時 2020 年 4 月 24 日(金) 19 時 30 分～
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100 円

新・八幡の歴 20 回目です。新しくスタートしています。前のお話と違う部分も話されるそうです。



八幡まるごと館 / 八幡市男山松里 1-2-20
(TEL&FAX) 075-983-3664
(E-MAIL) yawata@marugotokan.net
ホームページは <http://marugotokan.net>
又は、八幡まるごと館で検索して下さい

八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。